

小・中学校の図書館の現状

学校教育部 学校教育課

1 利用状況 ※小中学校とも R4.12 月末現在時点

(1) 小学校(1校あたり)

	一日平均利用者数	一日平均貸出数
平成30年度 (2018年度)	87.0人	223.4冊
令和元年度 (2019年度)	116.5人	237.3冊
令和2年度 (2020年度)	95.5人	255.1冊
令和3年度 (2021年度)	122人	280.0冊
令和4年度 (2022年度)	121人	276.3冊

(2) 中学校(1校あたり)

	一日平均利用者数	一日平均貸出数
平成30年度 (2018年度)	60.0人	45.4冊
令和元年度 (2019年度)	61.8人	42.3冊
令和2年度 (2020年度)	31.9人	32.3冊
令和3年度 (2021年度)	49.4人	43.3冊
令和4年度 (2022年度)	40.4人	41.0冊

(3) 平均利用者数・貸出数の前年度からの変動理由について

前年度と比較した場合、小学校においてはほぼ同様の実績をあげることができたといえる。一方、中学校においては、一昨年度ほどではないにしても実績の減少がみられる。新型コロナウイルス感染症拡大防止による図書室の1日の利用者数や開館時間の制限が主な理由と考えられる。令和5年度に向けて、一層の平均利用者数・貸出数の向上を図る必要がある。

2 司書の配置状況

(1) 小学校・・・直接雇用 1日4時間、130日間、一人配置(1校につき)

(2) 中学校・・・直接雇用 1日4時間、130日間、一人配置(1校につき)